

「先生、やりました。」



校長 西藤昌裕



県総体が終わりました。今年は十四年ぶりの男女総合第三位という快挙に、生徒も教員も揃って歓声を上げました。五十二回を刻む県総体の栄光の跡を紐解くと、浜高が男女総合で三位以内に入賞したのは五回、そのうち最高位は第一回大会の第一位です。クラス数・生徒数が減少するなかで、一人ひとりが高いレベルで勉強と両立させながら成し遂げた今回の成績は、浜高の底力を改めて県内に示したものと誇りに思います。

七月以降も、硬式・軟式の両野球部の全国選手権地区予選、吹奏楽部・合唱部の全国コンクール予選と大会は続いていきますが、県総体の好結果の後押しを受けてもっと良い成績を上げてくれるものと期待しています。

さて、県総体、浜高祭、そしてセンター試験は浜高の三大行事です。自身のためばかりでなく、チームの、

分団の、そして学校のために総力を挙げて目標達成に向けて邁進する浜高生は、この行事に取り組むなかで大きく成長し、社会で必要な力（生きる力）を身に付けていきます。親として、教員として、そのように成長していく子ども（生徒）の姿を間近に見るのはたいへん嬉しい、幸せなことです。

浜高生、頑張れ。君たちが、そして学級担任や部活動顧問の先生方が、で校長室に報告に来てくれるのを、心から楽しみに待っています。

県総体が終わりました。今年は十四年ぶりの男女総合第三位という快挙に、生徒も教員も揃って歓声を上げました。五十二回を刻む県総体の栄光の跡を紐解くと、浜高が男女総合で三位以内に入賞したのは五回、そのうち最高位は第一回大会の第一位です。クラス数・生徒数が減少するなかで、一人ひとりが高いレベルで勉強と両立させながら成し遂げた今回の成績は、浜高の底力を改めて県内に示したものと誇りに思います。

七月以降も、硬式・軟式の両野球部の全国選手権地区予選、吹奏楽部・合唱部の全国コンクール予選と大会は続いていきますが、県総体の好結果の後押しを受けてもっと良い成績を上げてくれるものと期待しています。

さて、県総体、浜高祭、そしてセンター試験は浜高の三大行事です。自身のためばかりでなく、チームの、

平成27年度 各委員会紹介

生活指導 人権・同和教育委員会



委員長 斗光秀基

今年度の事業は、引き続き生徒指導の夜間パトロールや挨拶運動、人権・同和教育講演会の開催などがあります。保護者の皆様の御支援と御協力をお願ひ申し上げます。

わい、最近は田安のためもあり日本

を訪れる外国人客が増えています。殆どの外国人が日本を大好きになつて帰つてきます。また、TVでも世界に

誇る日本の良さや魅力を紹介する番組が増えてきました。その根底にあるのが日本の御持て成しの心、サービス精神、極め細やかさだと思います。この

日本の良き精神性を次世代に是非とも引き継いで戴いたいと願っています。

孟子の言葉で『四端の心』があります。人が生まれながら備えている四つの心情で、その心情を育み養つします。立派な大人に成長すると言つてします。その四つの心とは、「慈しみや思いやりの惻隱の情は仁の始まり」「恥を知

り悪を憎む羞恥の情持ちは義の始まり」「謙遜し他人に譲る辞讓の心は礼の始まり」「ものごとの正否を判断する是非の心は智の始まり」というものです。

これら之心は、青少年の生活指導や人権・同和教育にとって大切なものです。史の中で、これら的心情を咀嚼して伝統・文化を培つてきました。今後も、

賞賛される日本の精神性を若者たちが継承し世界に飛翔していくことを望むと共に、子育てを楽しんでいきましょう。

広報委員会



委員長 兩見利浩

創立一一〇年の歴史ある浜田高校の広報委員長をさせて頂くにあたり感謝申し上げると共に一年間真摯に取り組んでいきます。よろしくお願いします。

私事ですが、仕事で取引先の方との会話の中で、浜田高校の話をしますが、関西方面や関東方面の方でも浜田高校

の事はよく知りてますよ。と言われます。先輩方の活躍による物だと痛感しています。一一〇年の歴史は先輩方の功績が伝統を創り今日があるのだと思います。平成二十七年度の県總体では男女総合三位と健闘し、文化部も活躍しております。頑張っています。勉強と部活動に頑張つている生徒達を保護者としても最大限に応援して行きたいと思いまます。皆様の御協力をよろしくお願ひ致します。

「浜高だより」を生徒達にも保護者の方にも思い出となり活力となる広報誌にするために、皆様方のご意見等も参考にして行きたいと思いまのでよろしくお願い致します。

進路研修委員会



委員長 濱崎 さおり

今年度、進路研修委員会では、三つの計画をたて活動する事になりました。一つ目は、浜高祭九月一日（火）の文化祭で恒例の喫茶「無花果（いちじく）」を出店します。伝統ある「バナナジコース」を作り、一人でも多くの生徒さん、文化祭を観に来られた方々

に喜んでいただきたいと思います。昨年は生徒の様子を「ライブシッター」にしたコーナーも好評でした。当口お手伝いいただける保護者の方は、ぜひお知らせください。

二つ目は、保護者のための大学訪問です。九月下旬に岡山大学を訪問する予定で進めます。岡山大学のキャンパスの雰囲気を知つたり、浜高出身の学生との交流会では、「受験対策、学部選択理由」「大学生の心得」「仕送りとアルバイト」のことなど意見交換して、保護者も大学生活について知ることができるいい機会にしたいと思います。

三年生の保護者だけではなく、一年の保護者の方も積極的に参加してくださること。

三つ目は、一月中旬以降に外部講師の講演会を計画します。詳しくはまたお知らせします。この委員会では、学年別保護者集会の運営のお手伝いもさせていただきます。毎回どの学年も集会に一〇〇名以上の参加があります。今年度も総会のあと第一回目があり、あと二回は各学年の口程で行われます。

委員一同頑張りますので、今年度も皆様のご参加、ご協力をよろしく申し上げます。

交流委員会



委員長 三浦 貢

今年度、初めて評議員となり、交流委員長を務めさせていただきました。P-T-A活動は、小学校・中学校とも参加してきましたが、自分の出身校での活動は初めてになります。

自分自身がかつて過ぎした愛着のある校舎を、保護者の皆さんや生徒の皆さんと一緒に、交流をしながら、清掃をするなどを楽しんでいます。この行事を通して保護者や生徒のつながりを深めていかねばと思っています。

今年度の交流委員会活動計画を紹介します。

▼第一回交流（ボランティア）活動

- ・日時…十一月八日（日）

八時～九時頃

- ・内容…「落葉清掃」

▼第二回交流（ボランティア）活動

- ・日時…十二月六日（日）

八時～九時頃

- ・内容…「窓拭き・校舎内外の清掃」

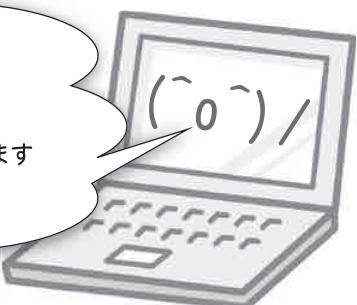
浜高ホームページが新しくなります！

注目 ➥ ホームページのここが変わります。

- ・前よりも断然見やすく、使いやすくなります
- ・部活動の紹介ページが新設され、大会成績等が更新されます
- ・定期刊行物もホームページ上で見ることができます
- ・進路に関する情報をより得やすくなります

ぜひ、ホームページにアクセスしてください。

リニューアル予定日 7/30(木)



進路指導部より

1 1, 2年土曜特別講座（希望者）・3年土曜補習（全員）について

(1) 実施科目 1, 2年特別講座

1学期 1年、2年は英数国
2, 3学期 1年 英数国で実施
2年 5教科を実施

3年土曜補習

英、国、数、地歴、理科

(2) 時程

1限 8:45～9:45
2限 9:55～10:55
3限 11:05～12:05



(3) 1, 2年土曜特別講座の実施日

		1年	2年	3年
1	6月20日(土)	○	○	○
2	7月4日(土)	○	○	○
3	8月22日(土)	○	○	○
4	10月10日(土)	○	○	○
5	11月7日(土)	○	○	模試
6	12月19日(土)	○	○	模試
7	1月9日(土)	○	○	模試
8	2月13日(土)	○	○	
9	3月12日(土)	○	○	

2 総体が終わり、多くの3年生は受験モードに入り、6月15日から毎日放課後補習が始まっています。この夏休みも補習や特別講座を次のように計画しています。

夏季補習

学年	対象	期間	実施教科
3年	全員	7月27日(月)～31日(金)	英語、国語、数学、地歴公民、理科

夏季特別講座

学年	対象	期間	実施教科
1, 2年	希望者	7月27日(月)～31日(金)	英語、国語、数学
3年	希望者	8月3日(月)～11日(火)	英語、国語、数学、地歴公民、理科

また、この夏休みには、次のような行事が行われます。

- (1)島根県主催の医学部・法学部を志す県内の2年生を対象にした「夢実現進学チャレンジセミナー（夢チャレ）」（3泊4日）が計画されています。本校からも2名の生徒が参加します。
- (2)浜田医療センター・江津済生会病院での医師・看護師体験が行われます。本校からも3年生が約20名参加します。

2015年度入試を振り返って

1. 「理系人気」の沈静化

近年の入試の特徴として「地元志向」「安全志向」「理高文低」があげられます。「地元志向」については、大学入学者に占める地元高校生の割合」の変化をみると、地元高校生の割合は2005年度から2010年度にかけて上昇し、近年は42%前後で推移しています。一方、ここ数年続いている「理高文低」については、15年度入試では、逆に文系の学部系統の志願者が増加しており理系人気は沈静化してきています。

2008年のリーマンショック以降の景気悪化に伴う大学生の就職率の低下を背景に、「就職に強そうな」理系学部の人気が上昇し、同時に医療系をはじめとした資格系学部も人気となってきました。しかし、近年の景気の回復、大学生の就職環境の急速な好転もあり、15年度入試では文系の社会科学系での志願者の増加が見られました。

2. 学部系統の動向

今春の国公立大学(前期)法学部系の志願者は前年比107%と大きく増加し、私立大学でも志願者数は前年比102%となり、やや増加しました。一方、薬学部での減少が目立ちました。薬剤師養成課程が6年制になった2006年度以降、人気が急速に低下し、特に学費の高い私立大では大きく志願者を減少させました。しかし、2011年度に増加に転じ、2014年度まで4年連続で増加しました。背景には「資格志向」と地元で就職が望めることが考えられます。

しかし、今春の志願者は国公立大(前期)87%、私立大95%と大きく落ち込みました。理由として考えられることは、大卒の就職状況の改善による資格人気の落ち着きと、薬剤師国家試験の合格率の低迷が考えられます。

2015年 薬剤師国家試験結果

	合格率
国立14大学計	75.1%
公立4大学計	75.4%
私立56大学計	62.3%



3. 後期日程の欠席率の上昇

2015年度入試の国公立大学後期日程の欠席率は56.1%(2006年度49.5%)と、前年より高い割合でした。後期日程は、前期日程合格のため、後期日程が不要になる場合や、受験前に合格していた私立大への進学を決めて後期日程を受験しない場合があります。近年は、合格が決まった時点で早く進学先を決め、最後まで粘り強く頑張れない受験生が増加し、年々欠席率が上昇しております。中には、実質競争率が1.5倍以下の募集単位も多く見られます。

4. 今後の大学入試の改革

(1) 英語力を重視する傾向

2016年入試では、

- ・山形大 地域教育文化（児童教育）
- ・茨城大 人文（社会科学）
- ・千葉大 教育
- ・岡山大 環境理工（環境管理工） 医学（放射線、検査技術）
- ・佐賀大 理工
- ・長崎大 教育、工学
- ・鹿児島大 理、工、農、水産、医（保健）

以上の大学で新たに個別試験において英語が課せられるようになります。今後、このような傾向は他大学にも広がっていくものと思われます。

(2) 英語外部検定試験（英検、TOEFL、GTEC）の活用

各大学の個別選抜において英語の4技能（読む、聞く、書く、話す）を測定する資格・検定試験の活用が今後進んでいくものと思われます。

具体的な動きとしては、2016年度入試では、千葉大、横浜市立大、東京海洋大、神戸大、広島大、徳島大、福岡女子大、創価大、立教大、中京大、立命館大、関西学院大において、英語外部検定試験を活用した入試が新たに行われます。

また、広島大学では平成31年度入試までに受験者全員に外部検定試験の結果を利用した大学入試に改革することを目標にあげています。岡山大学でも平成35年度までに同様の目標をあげています。

2015年入試においても、山口大学国際総合科学部、長崎大学多文化社会学部すでに外部検定試験が利用されています。

この2大学での利用方法は

○山口大学国際総合学部

英検準1級、GTEC800点以上・・・個別試験30点加算

GTEC680点以上・・・個別試験20点加算

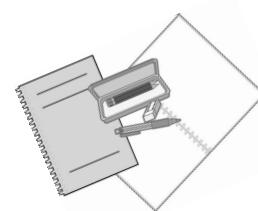
英検 2級、GTEC560点以上・・・個別試験10点加算

○長崎大学多文化社会学部

英検準1級、GTEC700点以上・・・センター試験の英語の得点を満点とする。

のような利用がなされています。

今後、各大学の入試において外部検定試験の活用が進んでいくものと考えられます。。



軟式野球部

全国高等学校軟式野球選手権大会は、毎年8月下旬、兵庫県明石市の明石トーカロ球場を中心に開催されます。

1956年（昭和31年）に第1回大会が開催され、今年は第60回大会になります。島根県のチームは島根県大会を突破して、東中国大会に出場し、これに優勝すると全国大会への出場権が与えられます。また、全国大会でベスト8に入ると、国体への出場権が与えられます。

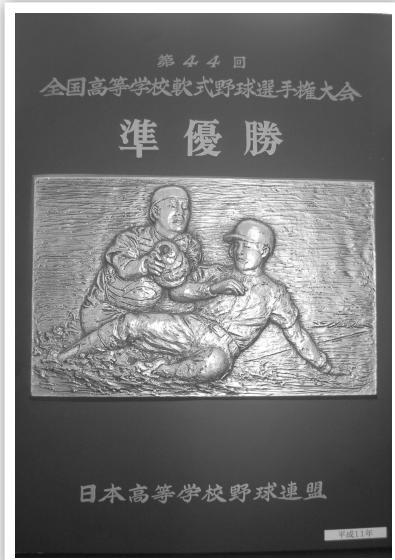
浜田高校軟式野球部は、第1回大会から予選に出場し、東中国大会まで進出しています。以来、全59回の大会中52回の東中国大会出場を数え、1969年から2015年まで47年連続で出場しています。

全国大会へは、1971年（昭和46年）の初出場以来、12回の出場を果たしています。そのうち、初出場の1971年には準優勝を果たし、国体でもベスト4に進出しました。また、1999年にも準優勝を果たし、この年には国体でも準優勝を果たしています。そして、1978年には全国大会ベスト4に入り、国体では優勝を果たしています。

浜田高校軟式野球部の創部は1951年（昭和26年）頃、全国高等学校軟式野球選手権大会とほぼ同じ長さの歴史を歩んできました。平成16年に出場して以来、全国大会への出場は果たせていませんが、現在の選手、マネージャーも全国大会への出場をめざして日々努力しています。

【上位大会成績】

回	年	東中国大会	全国大会	国体	中国大会
1	1956	出場			
2	1957	出場			
3	1958	出場			
4	1959	出場			
5	1960	出場			
6	1961	出場			
7	1962	県予選敗退			
8	1963	県予選敗退			
9	1964	県予選敗退			
10	1965	県予選敗退			
11	1966	県予選敗退			
12	1967	県予選敗退			
13	1968	県予選敗退			
14	1969	出場			
15	1970	出場			
16	1971	出場	準優勝	ベスト4	
17	1972	出場			
18	1973	出場			
19	1974	出場			
20	1975	出場	ベスト8		
21	1976	出場			
22	1977	出場			
23	1978	出場	ベスト4	優勝	
24	1979	出場	ベスト8	ベスト8	
25	1980	出場			
26	1981	出場			
27	1982	出場		ベスト8	
28	1983	出場	一回戦敗退		
29	1984	出場			
30	1985	出場			
31	1986	出場			
32	1987	出場			
33	1988	出場			
34	1989	出場		一回戦敗退	
35	1990	出場		一回戦敗退	
36	1991	出場			
37	1992	出場			
38	1993	出場	一回戦敗退		出場
39	1994	出場			
40	1995	出場			出場
41	1996	出場	一回戦敗退		
42	1997	出場			出場
43	1998	出場			
44	1999	出場	準優勝	準優勝	準優勝
45	2000	出場			出場
46	2001	出場			優勝
47	2002	出場	ベスト8	ベスト8	
48	2003	出場			出場
49	2004	出場	ベスト4	ベスト8	出場
50	2005	出場			出場
51	2006	出場			出場
52	2007	出場			出場
53	2008	出場			出場
54	2009	出場			出場
55	2010	出場			出場
56	2011	出場			出場
57	2012	出場			出場
58	2013	出場			出場
59	2014	出場			出場
60	2015	出場			出場
出場回数		53	12	7	19



（文責：軟式野球部 部長 梶谷励）

サッカー部

(草創～黄金期)

本校サッカー部は、昭和24年に前身の浜田中学が浜田高校となるのと同時に創設された。設立当時は、松江北高校や大社高校などと合わせても、県内に6校しかサッカー部のない時代であり、サッカー先進の地であった広島県にも近いというメリットも活かしながら、本校サッカー部が島根県サッカーワー界をリードする存在であった。

全国大会出場は、昭和31年の第11回国民体育大会が初めてである。また、高校サッカーの花形である全国高校サッカー選手権大会には、昭和34年大会を皮切りに、47年度、56年度、58年度と、4度の出場を誇っている。

また、島根県高校総体における昨年度までの成績を見ても、昭和38年の第1回大会の優勝校であり、その後も昭和42年に2度目の優勝、その他準優勝が4回、3位が4回という輝かしい実績を残している。



(苦闘の時代)

しかし、時代が平成を迎えると、本校サッカー部は苦しい時期が続くようになった。1993年のJリーグ創設などを機に日本全体、島根県全体のサッカーのレベルが急速に上がり、部員数の多い東部の学校や、私立高校の優勢が次第に明らかになるようになった。

そうした苦しい時期にも、本校サッカー部員たちは多くのOB、保護者、地域の方々の熱心なご支援に支えられながら、県西部の伝統校としてひたむきにサッカーに取り組んできた。その成果が、近年になって少しずつ現れ始めている。県総体では2007年度、2011年度にベスト8、県新人戦では2014年度、15年度にベスト8入りを果たし、県リーグでも2012年度に念願の2部昇格を果たすと、翌13年度にすぐに1部昇格を決めるなど、県内の強豪校とも堂々と渡り合えるようなチームになりつつある。

(新たな飛躍に向けて)

そして、先日行われたばかりの平成27年度県総体では、14年ぶりに3位入賞を果たすことができた。「身体能力や技術的には多少劣っても、観ている人の胸を打つようなひたむきなサッカーをしよう」を合言葉に、浜高生らしい、真面目にひたむきにがんばる選手たちが勝ち取ったこの成績を、新たな浜高サッカー部の飛躍の第1歩にしたいと思っている。



(文責：サッカー部顧問 坪倉将)

第20回 浜田高校 ウオッヂング

頑張った浜高生！
～全国で活躍する浜高生～

今回のウォッヂングは、全国大会に出場する部活動を紹介します。



体操部

男子団体総合	優勝
男子個人総合	優勝
女子団体総合	2位
女子個人総合	優勝
その他個人種目上位入賞者	多

インターハイ出場
インターハイ出場
インターハイ出場
中国大会出場

陸上競技部

女子総合	2位
女子七種競技	優勝
女子400m	2位
女子400mハードル	2位
その他個人種目上位入賞者	多

中国大会出場

平成27年度

第53回島根県高等学校総合体育大会成績

男女総合第3位

平成13年度男女総合第3位から14年ぶりの快挙でした。



弓道部

女子個人 2位 インターハイ出場

女子ソフトテニス部

女子総合 2位
個人戦 優勝 インターハイ出場

水泳部

男子 100m自由形 1位
男子1500m自由形 2位
女子 400mメドレーリレー・フリーリレー 3位
その他個人種目上位入賞者 多 中国大会出場

軟式野球部

優勝



文化部

県大会で上位入賞を果たし全国大会へ出場する文化部を紹介します。

美術部

全国高等学校総合文化祭出場

自然科学部

全国高等学校総合文化祭出場

放送部

ラジオドキュメント部門 2位
研究発表の部 2位
テレビドキュメント部門 4位
NHK全国高校放送コンテスト出場

歴史・社研部

高文連社会科学専門部オリンピアード（生徒研究発表会）

「近世「石見銀山領」の現状と課題～世界遺産になれなかった「石見銀山」のこれからを考える～」
全国高等学校郷土研究発表大会出場

浜高生の全国での活躍を期待しています。頑張れ！浜高生!!

平成27年度 第53回島根県高等学校総合体育大会成績の一覧表は浜田高校ホームページの浜高通信第4号に掲載しています。ご覧ください。